

## カナダの金融市場動向 Weekly Report

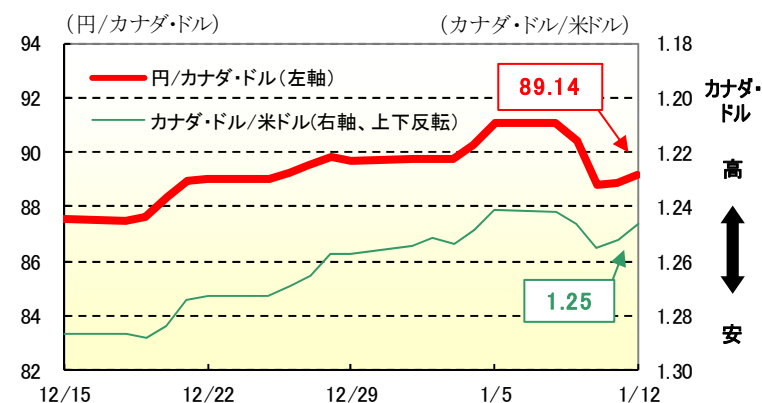
【2018年1月6日～2018年1月12日の推移】

### 【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円は下落し、カナダ5年国債利回りはほぼ横ばいとなりました。

カナダ政府当局者が「米国がNAFTA(北米自由貿易協定)を離脱する可能性が高まりつつある」と匿名で述べたと報じられました。これを受けて、カナダ・ドルが下落する局面がありましたが、その後、米国ホワイトハウス報道官が「NAFTAに関する大統領の立場に変化はない」と発言したことから、カナダ・ドルは値を戻しました。また、カナダでは住宅建設許可件数が予想を大幅に下回ったこともあり、1月の利上げ織り込みは若干後退しました。

### 【カナダ・ドル 為替推移】 (2017年12月15日～2018年1月12日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

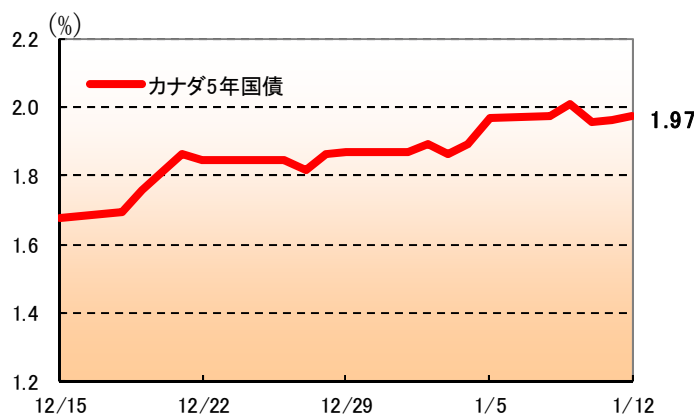
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 【2】今週の見通し

今週、カナダでは金融政策決定会合の開催が予定されています。

カナダ銀行の企業景況感調査によると、企業が設備投資を拡張する意向を持っていることや、労働力不足を背景に採用意欲を強めていることが明らかになり、カナダ経済が好調に推移していることが示されています。1月初旬に発表された雇用統計が非常に堅調な結果であったことも合わせて考えると、カナダ銀行は0.25%の利上げを実施する可能性が高いとみています。原油価格をはじめとする商品市況が上昇基調であることもあり、カナダ・ドルにとって追い風環境が当面続くと考えています。

### 【カナダ 金利推移】 (2017年12月15日～2018年1月12日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>